

2021年度第6回11月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2021年11月
2. 開催の場所 各委員に資料を郵送して番組をお聞きいただき、
意見・感想を返信してもらう形式で開催
3. 委員の出席 委員総数9名
返信総数9名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	河又弘子
	委員	竹内明子
	委員	白幡冬彦
	委員	古口 悟
	委員	富田哲夫
	委員	大森玲子
	委員	石松英昭
	委員	大出正志

4. 議 題

(1) 手話でシュワッチ!

毎週水曜 15:15～15:20 (5分番組)

(2) その他

5. 議事内容

(1) 手話でシュワッチ

番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴していただいた

議題説明：ラジオで手話を紹介する実験的で新感覚の番組。手話学習会に参加している小学生が出演する。毎回手話を動画でも撮影し、ツイッターに投稿。手話を確認しながら聞くことができる。3回分の放送を試聴した。

各委員からは、

- 子供たちが語源を含めた丁寧な説明で、手話を上手に紹介していると感じた。時間も3～5分程度で気軽に聴くことができる。来年、全国障害者スポーツ大会が開催されるので、手話を広めて1人でも多くの県民が、来県される方々をサポートして欲しい。
- コンセプトは高度過ぎず手話に興味を持ってもらうことと感じた。毎回テーマを設定して講師役の子供たちが親しみやすく解説している。ツイッターで動画視聴もできる。多様性の時代に障がいのある人やそれを支える人だけでなく、多くの人が手話に興味を持つきっかけになればよいと感じた。
- 子供向けの番組かと思ったら、興味が深まりいつの間にか手ぶりを交えてハマってしまった。もっと多くの手話を習えたら、日常生活や職場でも手話を通じて思いやりや気配りがよりスムーズになることが見込まれる。気軽に心を和ますこの番組は有意義で5分では短く感じる。10分でもよいかと思う。
- ラジオで手話を伝えるのは難しいと思ったが、出演者が細かくしぐさを伝えていることやツイッターと連動することで非常に伝わりやすくしており、とても良いと感じた。子供たちの伝え方が上手だった。
- 番組名の語呂が良い。視覚に頼る手話だが、音声だけでも意外とわかりやすかった。動画を見て確認できるのも良い。デフリンピックの紹介がされているのが良かった。手話学習会の説明があっても良いと思う。パラリンピックのみが美化されて取り上げられているが、もっと多角的に障害者のスポーツ大会を取り上げることが望まれる。
- 聴覚障害者に対してラジオとの関係は皆無である中で、手話を通して聴覚障害者とコミュニケーションを図ることができることを気付かされた。この放送を聴いた我々が必要とする方々へ伝える輪が広がるよう考えさせられた。タイトルは健常者から見たらダジャレが聴いてよいが、聴覚障害者からはどうかと思った。

- チャレンジングなコーナーだと思う。映像が不可欠でラジオでは出来ないと
思ったが、ツイッターで動画を見せるという補足の仕方は、ラジオの活用を
広げる可能性を秘めている。この挑戦はラジオの新境地を開く可能性がある。
ぜひ応援したい。手話を紹介するのが子どもであるところに好感が持てる。
活舌よく、ゆっくり丁寧に話しているのでそこそこイメージができる。手話
を学んでいる子供たちを応援したい気分になる。豆知識や聴覚障害者に対す
る理解を促すような情報を放送してほしい。ツイッターの動画はもっと工夫
して凝らして見やすくしてほしい。ツイッターを活用して聴覚障害者がラジ
オで手話を生中継する番組を作るのもありかもしれない。
- 新たな視点からの挑戦的な番組と評価した。聴覚障害者の参加が難しいラジ
オで取り上げた点、さらに視覚的にも確認できるよう SNS で動画を展開した
点に目新しさを感じた。
- ラジオで手話学習が出来るとは驚いた。子供たちが講師であることが斬新で、
教え方はとても解りやすく良かった。コロナ渦でマスクの着用時に手話で
どのように会話されているか、状況を伝えると良いのではないか。こうした
番組を放送することで、取り入れることが難しいと思われる手話が学校教育
の中でも身近になるのではないかと思う。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいき
たい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

- ① 当社の番組「栃木放送からのお知らせ」
(2021年12月5日(日) 午前8時5分放送)
- ② 当社のホームページに掲載(2021年11月29日～)
- ③ 当社事務局に議事録備え置き(2021年11月29日～)

以上